

泥濃式推進工法用 高濃度泥水材—ワンダーV

■概要

泥濃式推進工法は粘土系材料を主剤として掘削土を塑性流動化し排泥します。しかし、この方法によると切羽の保持が難しく、この問題を解決するためにワンダーVを添加することで粘土添加量を半減することができ、作業性が改善できます。

■特徴

1. ワンダーVを添加することにより切羽の崩壊を防ぎ掘削土を塑性流動化することができます。
2. 流動化した掘削土は、ブリージングが極めて少ないため管内閉塞がなく、安定したバキューム排土が容易となります。
3. 1kg入小袋のため計量の必要がなく品質のバラツキがなく安定した泥水を作液することができます。
4. 従来の材料と比較し、溶解性が良好です。
5. 粘土の添加量を削減できます。

■使用方法

1. 各土質により設計された水をミキサーにはり、粘土を投入し攪拌します。
2. 十分に粘土分散液を生成した後にワンダーVを投入し攪拌します。
3. 溶解したら終了です（水温により溶解時間は異なります）

配合表（下表の添加量は目安です。土質および地下水量の諸条件により調整して下さい）

項目	土 質						
	A	B	C-1	C-2	D	E	F
	普通土	礫、玉石混じり土				硬質土	岩
粘性土 (N値30未満)	礫率30% 以下	礫率30% ~50%	礫率50% ~80%	礫率80% 以上	粘性土 (N値30以上)	一軸圧縮強度 40N/mm ²	
砂質土 (N値50未満)					(N値50未満)	以下	
ワンダーV (kg/m ³)	7.5	15	15	15	15	3	15
粘土 (kg/m ³)	0	30	60	120	180	30	120
目詰材 (kg/m ³)	8	12	12	12	12	0	0
水 (kg/m ³)	991	970	957	933	922	987	946
比重	1.00	1.03	1.04	1.08	1.12	1.02	1.08
粘性 (cps)	150	1800	1900	2000	2400	50	1400

注. 上記土質区分はユニコーン協会発行の「ユニコーンM工法積算資料」平成16年度版を参考にしています。

■性状

外 観 淡黄色～白色粉末
 嵩比重 0.6～0.9
 PH 7～8

■荷姿

10kg入ダンボール箱（1kg×10袋）